

平成23年3月11日に発生しました東日本大震災およびその後の余震により、お亡くなりになりました多くの方々に哀悼の意を表します。また、被災された方々に対してお見舞いを申し上げます。

震災以降、全国からお見舞いや励まし、楽器提供などの活動支援のお申し出を多数お寄せ頂きました。感謝申し上げます。本県吹奏楽連盟加盟団体の被災状況につきまして、4月末までに判明している内容をご報告させていただきます。壊滅的な状況になっている団体は、3団体（楽器の状態が確認することができない団体を含む）です。

(小学校) 被災の報告はありません

(中学校) 校舎がすべて津波の襲来を受けた・・・1団体（楽器が流出または被災）  
校舎の1階から2階にかけて津波が襲来した・・・1団体

\*校舎内に立ち入ることができず、楽器・用具などの被災状況は不明  
校舎1階部分が津波により浸水・・・1団体（楽器・用具は無事）

(高等学校) 校舎がすべて津波の襲来を受けた・・・1団体（楽器が流出または被災）

(大学) 被災の報告はありません

(職場一般) 団員の自宅が被災し楽器が被災・流出している模様（人数は不明です）

現在、これらの団体からの直接的な支援要請はございません。学校は4月末から5月連休明け頃から再開し、その後、具体的な支援の要請が行われる予定です。

被災された団体や地域は、①楽器の手配、特にも打楽器をどのようにそろえるか、②リードなどの消耗品の購入や、大会参加や演奏活動のための遠征費（バス・トラック代）などの資金をどのように集めるか、③被災した学校は被災していない学校での再開となり、また、被災していない学校も避難所や仮設住宅の建設地としての役割が優先され、練習を行う場所が確保できるのか、などの問題を抱えています。それぞれの団体が置かれた状況は大きく異なるため、要請が来た段階で連盟として検討し、県内や全国の皆様に支援をお願いする予定です。

現在、岩手県吹奏楽連盟では、楽器・用具の支援は岩手県内に対してのみ行っております。また、義援金による支援は全日本吹奏楽連盟で受け付けております。

学校を含めた地域の復旧・復興は数年単位に及ぶと言われております。吹奏楽の活動についても、同程度の年月を必要とするものと思います。皆様方におかれましては、ともに演奏活動に関わるものとして、息の長いご支援を是非お願いできればと思います。よろしくお願いたします。